

授業科目名[英語名]

現代社会と環境教育[Environmental Education in Modern Society]

担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]

小栗有子[099-285-7293]

E-Mail	oguri@life.kagoshima-u.ac.jp	受講対象	全		
課程区分	学科/科目・分野等	開講期	後期	単位等	2
共同担当教員名					
教育目標のキーワード					
視野・判断力・探求能力/コミュニケーション能力と相互理解					
学習目標(学生の達成 目標)					
<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の現代的意義とその特徴について理解する。 ・環境教育が対象とする現代的課題を自分の問題として考えられる。 ・物事のつながりと多面的なものの見方の面白さと大切さを学ぶ。 ・自分の考えをまとめたり発表したりする表現能力を高める 					
授業概要(目的・内容・方法)					
<p>環境教育はどこから来て、どこへ向かうのか。接頭辞に「環境」のつく教育と「環境」のつかない教育はどう違うのか。そもそも環境教育に固有性はあるのか。講義では、これらへの回答を求め、受講者の環境教育観を豊かにし、環境教育を実践するとはどういうことかについて理解していく。講義では、世界や日本の環境教育形成史をたどり、その語りかける意味を考え、環境教育の成立根拠ともなる環境開発問題の意味を徹底して考えていく。また、講義は、講師の解説だけでなく、参加体験型学習法に基づく受講生同士の学び合いを重視して展開する。講義後半では、自分にとっての環境問題や環境教育とのかかわりを探りあてるために教室の外に出かけることも予定している。</p>					
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)					
1回 オリエンテーション 2回 ワークショップのすすめ 3回 ワークショップのすすめ 4回 日本の環境教育形成史 (公害問題と教育) 5回 環境開発問題ワークショップ 6回 環境開発問題ワークショップ 7回 世界の環境教育形成史(持続可能な開発と教育) 8回 環境開発問題ワークショップ 9回 環境開発問題ワークショップ 10回 私の環境問題と環境教育実践 (計画づくり) 11回 私の環境問題と環境教育実践 (調査活動) 12回 私と環境問題と環境教育実践 (調査活動) 13回 私と環境問題と教育実践 (整理) 14回 発表 15回 総括					
受講要件	特になし				
評価基準および方法	出席と参加状況(60%)、実践課題発表(40%)				
教科書	指定なし(プリントを配布します)	参考書	講義中に紹介します		
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	水曜日5限目事前連絡があれば随時対応する	その他	受講制限 30名程度		